

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2004
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.9 (2004.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20040000-0083

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

『三田社会学』第9号が完成しました。今年も編集事務局の浜先生の研究室には大変お世話になりました。ここ数年の傾向ですが、電子的なやり方で投稿や事務連絡が一般的になりました。技術的に手間が省けると同時に事務局に依存度をより高めています。良くも悪くも、これも社会変動の一つでしょう。さて今号の特集は家族がテーマでした。特集のもととなった今年のシンポジウムを企画された平野先生のおかげもあって、社会学の枠を超えて家族という共通テーマをめぐる面白いものになりました。歴史人口学、生活構造論・社会政策といった分野の先生方が家族社会学とともに家族について語る。このようなことができることも三田社会学の特徴といえるのかもしれませんが。ディシプリンに閉じこもりすぎたり逆に崩したりするところに学問の面白さはないのかもしれませんが。今年は1件の投稿論文があり、審査の結果掲載されました。偶然ですが、これもテーマは家族に関するものでした。書評、ビューポイントには古参の会員にお願いしたほか、外部から本学会にも縁の深い秋元先生にご寄稿いただきました。今後とも学会内外の人のつながりを大事にしてゆきたいと思います。

なお本誌刊行にあたって三田哲学会から出版助成をいただいております。ここに感謝申し上げます。

追記

「編集後記」を書いてから秋元律郎先生が6月28日に御逝去されたとの報が入ってまいりました。本号掲載の書評がほとんど絶筆のようになってしまったようです。塾出身の社会学者で秋元先生から直接ご指導いただいた方も多いと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。

(編集委員長 熊田俊郎)

編集委員会

熊田 俊郎(委員長) 澤井 敦 鈴木 智之 藤田 真文
長尾 真理(事務局) 浜 日出夫(事務局)

題字は福沢諭吉による

三田社会学

第9号

発行 2004年7月10日

編集発行：三田社会学会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部長尾研究室内

Fax 03(5427)1578

印刷：梅沢印刷所